

～在宅自己注射による不妊治療を受けられる方へ～

**HMG**注用「あすか」・**uFSH**注用「あすか」

**在宅自己注射**

～在宅自己注射による不妊治療を受けられる方へ～

# HMG注用「あすか」・uFSH注用「あすか」 在宅自己注射

あなたが処方されたお薬

HMG注用 75単位「あすか」

HMG注用 150単位「あすか」

uFSH注用 75単位「あすか」

uFSH注用 150単位「あすか」

本説明書は上記薬剤を1回75単位または150単位使用する場合があります。  
これ以外の使用量における注射用薬液の調整方法については、医療機関にお尋ねください。

## 注射を行う前に準備するもの

在宅での注射を実施する前に、下記の必要なものを準備してください。

- ① 薬剤（バイアル）1本
- ② 添付溶解液（アンプル）1本
- ③ 注射器 1本
- ④ 調製用注射針（23G～21G）1本
- ⑤ 注射用注射針（27G又は26G）1本
- ⑥ 消毒用アルコール綿2枚

①



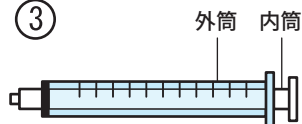
②



### 注意事項

①と②は注射の準備までは  
冷蔵庫内で保管してください。

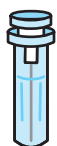
③



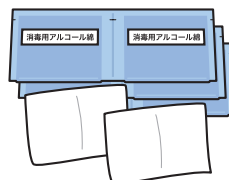
④



⑤



⑥



- ・このお薬を使用中に気になる症状があらわれた場合や注射のしかたでご不明の点がある場合は、医師、看護師又は薬剤師にご相談ください。
- ・こちらに示した注射液の調製方法や注射のしかたが全てではありません。医療機関の指示する方法に従ってください。
- ・前回使用した残りの注射液は絶対に使用しないでください。

## 注射用薬液の調製方法

### 1 手洗い

石鹸で両手をよく洗ってください。

### 2 薬剤（バイアル）の消毒

バイアルのキャップを外し、ゴム栓を消毒用アルコール綿で消毒してください。

### 3 添付溶解液（アンプル）の消毒

アンプル上部を指で軽くはじいて液を下部に流してください。  
くびれた部分を消毒用アルコール綿で消毒してください。

### 4 注射器の準備

注射器に調製用注射針（23G～21G）\*をしっかりと装着し、針のキャップを外してください。

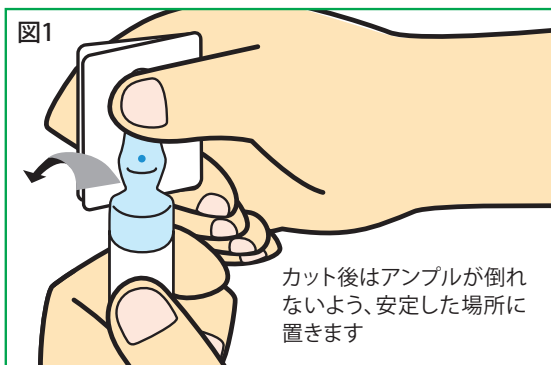
\*太い方の針になります

### 5 添付溶解液の開封（アンプルカット）

アンプルの丸い印が手前になるように持ち、消毒用アルコール綿を人差し指にあてて、反対側に倒すように折ってください（図1）。

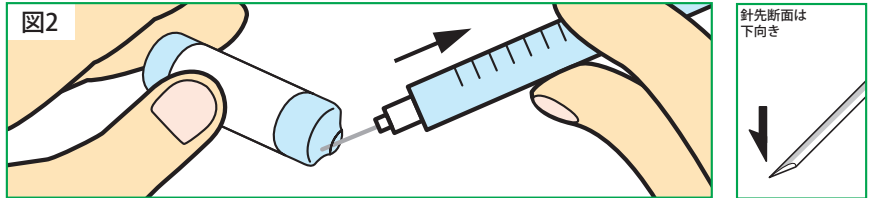
#### 注意すること

図1で使用した消毒用アルコール綿はガラス破片がついている可能性があるため、注射部位の消毒（5ページ参照）には使わないでください。

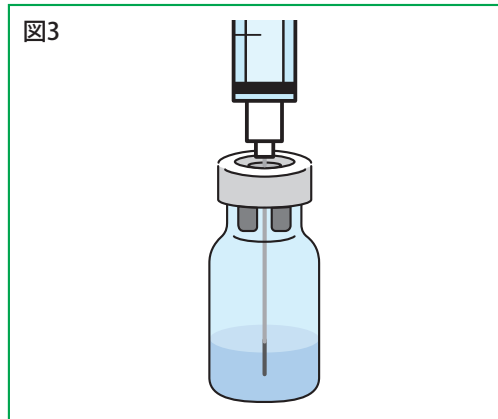


**6****添付溶解液の吸い上げ**

アンプルの切り口をやや下に傾けた状態で、注射器の針先断面を下向きにしてアンプル内の側面に当て、液の中に入れます（図2）。  
注射器の内筒をゆっくり引いて、全ての添付溶解液を吸い上げてください。

**7****添付溶解液のバイアルへの注入**

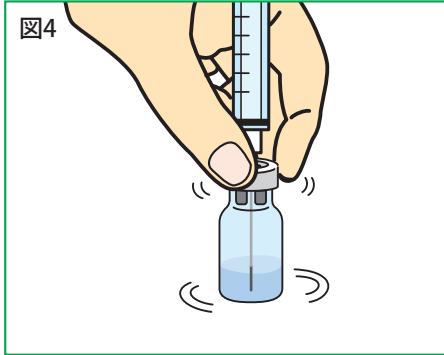
注射器の針をゴム栓の中央部に垂直に刺してください。  
注射器の内筒をゆっくりと押し、添付溶解液を少しずつ注入し、全てバイアル内に入れてください（図3）。



## 8

## 薬剤の溶解

針を刺したままバイアルを持ち、円を描くように軽く回転させて、溶解させた注射液が均一になるようにしてください（図4）。  
この時、液を泡立たせないようにしてください。



## 注意すること

泡立たせてしまったら、しばらく放置し、泡がなくなるのを待ちます。

## 9

## 注射液の吸い取り

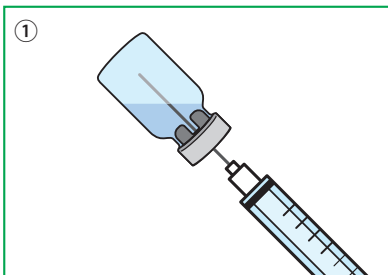
注射器の内筒を最後まで押し込んでください。

注射針を刺した状態でバイアルを逆さにしてください（図5-①）。

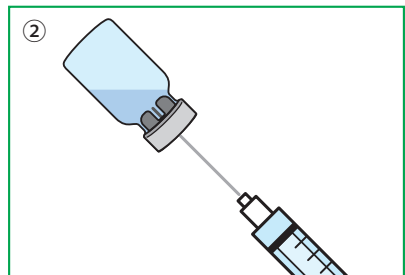
針先は液面より下にあるようにしてください（図5-②）。

注射器の内筒をゆっくり引いて全量を吸い取り、そのままバイアルから注射針を抜いてください。

図5



① 注射針を刺した状態でバイアルを逆さにします



② 針先を液面より下にし、注射液を吸います

## 10 注射針の交換

調製用注射針(23G～21G)から注射用注射針(27G 又は 26G)\*\*に付け替えます。外した調製用注射針はキャップをせずに「注射器・注射針廃棄容器」に入れてください(次ページ参照)。

\*\*細い方の針になります

これで注射用薬液の調製は完了です。以後は「皮下注射のしかた」に従って、注射してください。

- ・調製した注射用薬液は速やかに使用してください。
- ・調製用注射針はキャップをせず「注射器・注射針廃棄容器」に、アンプルやバイアルは「バイアル・アンプル廃棄容器」に入れてください(次ページ参照)。その他は通常のゴミとして廃棄してください。

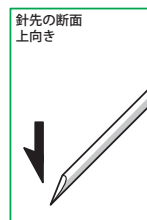
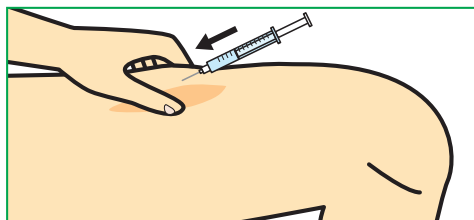
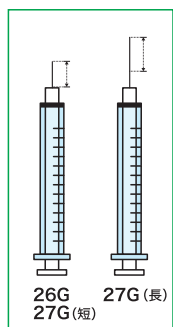
## 皮下注射のしかた

注射を忘れないようになるべく同じ時間に注射するよう心がけてください。

- 1 上腕、大腿、腹部、臀部などから注射する部位を選んでください(静脈内には投与しないでください)。注射部位の発赤や痛みなどを防ぐために、前回と同じ場所に注射しないよう、注射部位を毎回変えてください。
- 2 注射する部位(皮膚)をアルコール綿でよく消毒してください。
- 3 注射針のキャップを外し、注射器を注射針の先端が上になるように持ちます。注射液内に気泡が入っている場合は、注射器を指で軽くはじいて気泡を注射器の上部に集め、内筒をゆっくり押して空気を出してください。
- 4 片手に注射器を持ち、もう片方の手で注射部位の周囲の皮下脂肪をつまんでください。



- 5 針先の断面を上に向け、つまんだ皮下脂肪の中央に針を刺し、薬液の全量をゆっくり注入してください。



針の刺入深度は長い27G注射針の2/3の深さです。  
(短い27Gや、26G注射針の場合、深く刺入します)

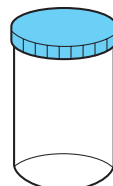
- 6 注射針を抜き、アルコール綿で注射部位を押さえてください (もむ必要はありません)。

- 7 使用済みの注射器、注射針は、専用の廃棄容器に入れてください。

注射針は針刺し事故防止のため、キャップをせずに廃棄容器に入れてください。使用済みのバイアルおよびアンプルは別のガラス瓶などの容器に入れてください。廃棄物は法律に基づいた方法で処分が必要ですので、来院時に廃棄容器をご持参ください。



注射器・注射針廃棄容器



バイアル・アンプル廃棄容器

MEMO



注射方法を動画で  
ご確認ください

医療機関名